

平成24年度 国保野上厚生総合病院改革プラン点検・評価について

1. 総論

昨年度末より病院事業収益は2.0%の増となったが病院事業費用についても2.6%の増となった。医業費用の伸びに見合う収益が得られなかった。

2. 改革プラン進捗状況

国保野上厚生総合病院改革プラン平成24年度実績調書

市町村等名 海南市・紀美野町

病院事業会計名 国民健康保険野上厚生病院組合事業会計

(単位:百万円、%)

項目	平成24年度策定 改革プラン値(X)	平成24年度実績(Y)	平成24年度実績が計画未達成の場合はその理由	
医業収益	2550	2575		
経常収益A	3085	3129		
医業費用	2881	2917	職員給与費・減価償却費が増加の為	
うち職員給与費	1540	1569	医療スタッフ増員の為	
うち材料費	640	634		
うち減価償却費	216	214		
経常費用B	3199	3235	職員給与費・減価償却費増の為	
経常損益(A-B)	-114	-106		
単年度資金収支額	244	-59	流動資産額の見込が過大であった	
地方財政法施行令第19条第1項により算定した資金の不足額	0	0		
地財法による資金不足比率	0	0		
経常収支比率	96.4	96.7		
職員給与費比率	60.4	60.9	給与費増加の為	
病床利用率	70	69.3	10:1の入院基本料維持のためのベットコントロールを行うが、待機患者数が少ないため利用率が70%を割り込んだ	
一般会計からの繰入金	収益的収支	() 426	() 446	
	資本的収支	() 52	() 50	償還元金の予定値に若干の差が出たため
	合計	() 478	() 497	